

## 県産材製材品の表面線量調査結果（第 40 回）について

## 1 目的

県内の製材工場から出荷される県産材の表面放射線量を確認するため、県内工場における製材品を定期的（平成 30 年度までは 3 か月に 1 回、令和元年度からは半年に 1 回、令和 4 年度からは年に 1 回）に測定し、その結果を広く県民及び関係者へ情報提供する。

## 2 調査時期 令和 7 年 1 1 月 4 日～令和 7 年 1 2 月 2 3 日

## 3 調査事業者数

対象工場聞き取りの結果、現在県産材を製材、出荷している 84 事業者について調査した。

## 4 調査方法（製材品の表面線量調査）

各調査工場の出荷製品について、柱、梁、板材等、品目毎に 3 検体以上を抽出し、製材品の表面線量（単位 cpm）を測定した。

## 【調査事業者の内訳】

区分	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	合計
事業者数	9	22	14	9	4	8	18	84
検体数(本)	45	85	81	27	12	50	57	357

## 5 調査結果

表面線量の最大値は 30 cpm（ $0.001 \mu\text{Sv/h}$ \*に相当）であった。

30 cpm の測定値について、放射線防護に詳しい、国立大学法人長崎大学 松田尚樹名誉教授及び 防衛大学校応用科学群 応用物理学科 高田真志教授に確認したところ、『環境や健康への影響はない』との評価が得られた。

※参考 震災前の福島市の空間線量 (H22.2.16)  $0.04 \mu\text{Sv/h}$   
東京都新宿区における空間線量 (R8.2.12)  $0.0357 \mu\text{Sv/h}$

## 【調査結果内訳】

区分	表面線量 (cpm)				合計
	未検出	1～20	21～40	41～	
事業者数	22	52	10	0	84
検体数(本)	175	169	13	0	357

最大値：30 cpm

最小値：0 cpm

平均値：5 cpm

※使用測定機器 GM管式サーベイメータ（日立アロカメディカル製 TGS-146B）

## 6 現在までの調査結果について

区分	調査時期	工場数	検体数	表面線量の最大値 (cpm)	備 考
第 1 回	H23. 11. 10～H23. 12. 7	31	544	5 0	県内の主要な工場について実施。
第 2 回	H24. 1. 25～H24. 3. 8	49	321	9 2	線量の高い県北、相双、県中の一部地域において稼働している全ての工場で実施。
第 3 回	H24. 6. 4～H24. 7. 24	135	1, 058	6 1	県産材を製材出荷している全ての工場で実施。
第 4 回	H24. 9. 3～H24. 11. 6	156	1, 224	5 1	〃
第 5 回	H24. 11. 22～H25. 2. 4	135	1, 177	3 1	〃
第 6 回	H25. 3. 1～H25. 5. 31	121	1, 076	3 5	〃
第 7 回	H25. 5. 27～H25. 7. 19	153	1, 301	2 4	〃
第 8 回	H25. 8. 28～H25. 10. 30	134	1, 124	2 5	〃
第 9 回	H25. 11. 26～H26. 1. 24	132	1, 097	2 8	〃
第 10 回	H26. 2. 20～H26. 3. 26	133	1, 078	2 4	〃
第 11 回	H26. 5. 26～H26. 6. 30	144	1, 071	2 8	〃
第 12 回	H26. 8. 28～H26. 10. 2	146	1, 035	2 2	〃
第 13 回	H26. 11. 17～H26. 12. 22	134	906	2 8	〃
第 14 回	H27. 2. 10～H27. 3. 24	133	995	2 1	〃
第 15 回	H27. 6. 2～H27. 7. 2	147	1, 054	4 1	〃
第 16 回	H27. 9. 1～H27. 10. 8	142	979	4 1	〃
第 17 回	H27. 12. 3～H28. 1. 19	133	975	4 5	〃
第 18 回	H28. 2. 26～H28. 4. 19	130	936	5 2	〃
第 19 回	H28. 6. 8～H28. 7. 15	141	1, 000	2 8	〃
第 20 回	H28. 9. 2～H28. 9. 30	134	1, 016	3 3	〃
第 21 回	H28. 11. 30～H28. 12. 26	137	1, 014	4 0	〃
第 22 回	H29. 2. 15～H29. 3. 17	122	928	3 0	〃
第 23 回	H29. 6. 1～H29. 7. 7	133	983	2 5	〃
第 24 回	H29. 8. 25～H29. 10. 11	130	901	2 7	〃
第 25 回	H29. 12. 5～H30. 1. 11	120	827	3 2	〃
第 26 回	H30. 2. 16～H30. 3. 28	118	741	3 9	〃
第 27 回	H30. 6. 5～H30. 6. 27	127	768	4 4	〃
第 28 回	H30. 9. 4～H30. 9. 28	116	623	2 7	〃
第 29 回	H30. 12. 4～H30. 12. 21	122	633	2 4	〃
第 30 回	H31. 2. 12～H31. 3. 15	119	557	2 4	〃
第 31 回	R 1. 6. 4～R 1. 7. 5	119	598	1 6	〃
第 32 回	R 1. 11. 26～R 1. 12. 19	117	562	2 0	〃
第 33 回	R 2. 5. 26～R 2. 6. 25	113	541	2 9	〃
第 34 回	R 2. 11. 27～R 2. 12. 2	107	501	3 2	〃
第 35 回	R 3. 5. 24～R 3. 6. 29	111	498	3 0	〃
第 36 回	R 3. 12. 1～R 3. 12. 23	100	422	3 1	〃
第 37 回	R 4. 10. 14～R 5. 1. 10	102	405	3 4	〃
第 38 回	R 5. 11. 15～R 5. 12. 27	98	396	2 5	〃
第 39 回	R 6. 9. 5～R 6. 12. 25	94	397	2 9	〃

今回調査	R 7. 11. 4～R 7. 12. 23	84	357	3 0	〃
------	------------------------	----	-----	-----	---

<参考> cpm（測定値）から $\mu$ Sv/h への換算表

計測器の指示値 （バックグラウンドを差し引いた値）（cpm）	$\mu$ Sv/h
1 0 0	0 . 0 0 3 3

国立研究開発法人産業技術総合研究所作成資料を引用